

防災訓練等指導業務報告書

リーダー	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	事務局長	事務局

研修団体名	神郷校区連合自治会 防災部			住所	新居浜市郷3-7-20		電話	46-1181	
研修日時	令和5年6月25日 日曜日 13時30分～16時30分			研修対象者	校区自治会員（防災担当者）		研修人数	34人	
研修場所	新居浜神郷公民館 大会議室			研修目的	有事の際の校区避難所開設の訓練の一環としてHUGゲームを体感する				
講師	馬越 健	ファシリテータ	近藤雅義	菅 秀臣	オブザーバー	川端悟、衣川祐二			

事前打合せ

日時	令和5年6月19日 月曜日 18時30分～19時30分		場所	神郷公民館 事務室	
参加者 研修者	連合自治会長 藤原 説夫		参加者 ネットワーク	中野ネットワーク 推進員	

訓練等指導報告

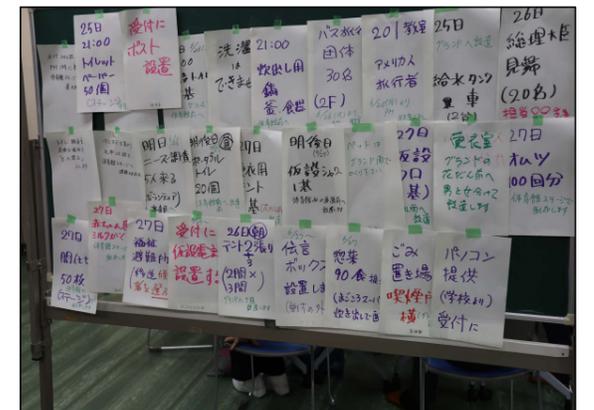
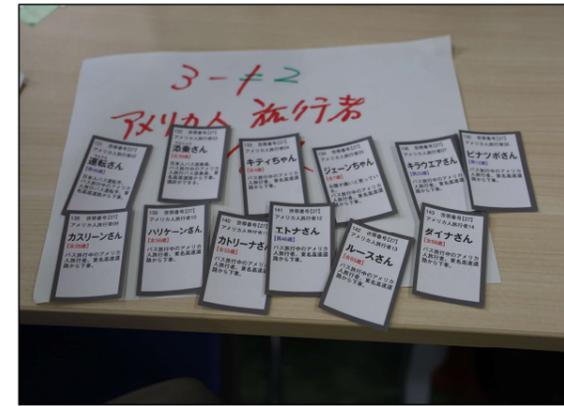
・ HUG研修の感想

- ・ 研修内容を知らなかったため、行き当たりばったりで作業を進めたがあらかじめ内容を研修しておけば効率よく進めることが出来たと感じる。  
繰り返してHUGを行うことで準備をしておくこと。有事の際に行うことを整理することが出来ると思う。実際に小学校体育館を使用した研修を行うことで現実的な問題が出てくると思う。
- ・ 707、体育館、グラウンドほかそれぞれを把握している担当者を配置できればベストです。回を重ねたら、HUGの中で良い意見やポイントがわかると思う。  
ソファ、手押し車の置き場とかも必要かもしれないですね。神郷小学校体育館Verのマニュアルをつくる機会を持ってほしいと思います。
- ・ 災害発生直後は様々な避難者が、様々な場所から来ることが想定されることが体験できた。その中で、早急な対応・配置と正確な情報共有が求められる。事前に「炊き出し」「簡易トイレ」「テント張り」の位置はマニュアル化して決めておいた方がスムーズに進むと思う。  
本日の訓練を自治会に持ち帰り自分が避難所のリーダー的存在になる事を意識したい。
- ・ まずは受付が落ち着くことが大事であり、避難者の氏名・住所・性別の情報収集を確実にやる。できること、できないことこの判別を行いチームを言うだけではなく、一緒に考えようという気持ちを持ち全員の協力が必要であり、障害者・高齢者・乳児「のいる母親などを配慮することの意識の共有が必要である。  
予備知識（過去の避難所運営での教訓など）が必要でリーダーシップを取れる人材を各自治会（区・組内）で育成しておく必要がある。
- ・ 初めての参加でしたが、避難した方を振り分けたり、刻々入ってくる情報に対応していくことは、大変なことだなあと感じました。次々カードで情報が入ってくるのに、小さなパニックを起こしてしまいました。実際の場面では私はきちんと対応できるのか不安になりました。  
あらかじめいざという時を想定して、どのように対応すればいいのかがマニュアル化して試してみることが大切だなと思いました。たとえば、避難してきた方をどのように振り分けるか、体育館にはどういった方たちを入れるのかをあらかじめ決めておくといいたいのではないかと考えました。また、刻々入ってくる情報をどのように処理して、避難所を利用する方たちと共有できるものにするのか、考えておく必要があると思います。
- ・ 最初は出来るか大変不安でしたがHUG研修で、グループでの討論を行っていくにつれてだんだんと各自が真剣になりカードを置くのに皆の意見が聞くことが出来て良かった。実際に起きたときは少しは役に立てるように頑張りたかったです。  
もっと多くの人にHUG研修を実施して欲しい。研修を多くすることで実際に起きたとき必ず役に立つのでみんなに色々な知識を付けたいと思います。
- ・ 前もって準備し、できる限り事前に決めておくことが大事だと思いました。  
①本部要員の立ち上げ ②部屋割りの決定 ③トイレの準備（ビニール袋） いろいろ皆で考えておくべきとおもいました。

発行番号No.230002

令和5年06月25日

訓練等指導報告



・ 講師寸評

研修後の討論会にて、避難所運営のマニュアル化の事が議題になりましたが今後地区防災計画の中で皆さんで討論を行い進めていくことが出来れば良いことだと考えます。  
自治会の役員は毎年交代することが多い中で避難所運営の要領・計画等を確実に伝え続けて下さい。